

教科・科目		教科書
家庭総合		家庭総合(実教出版)
学年	単位数	使用教材
1年・2年(基礎)	4	家庭総合 学習ノート(実教出版)
科目の概要と 目標	・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な知識の理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、生涯を見通して生活の課題を解決する力や生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	

1 学年

学 期	学習内容(単元等)	到達目標
1	これからの人生について考える	・人生設計に必要な要素を理解する。 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができる。
	自分らしい生き方と家族 自立と共生 共に生きる家族	・自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。
	高齢者とかかわる 高齢者を知る 高齢者の自立を支える 高齢社会を支えるしくみ	・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解し、生活行動の不安に気付く。 ・高齢社会の現状や課題に目を向け、新聞記事などを収集分析し、自分の考えをまとめることができる。
2	社会とかかわる 支えあって生きる 共生社会を生きる	・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・暮らしの中の支え合いを考え、支え合う社会の大切さやボランティア活動を理解し、関心をもつ。
	食生活をつくる 人と食物のかかわり 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 食事の計画と調理	・食事の意義を理解する。 ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身に付ける。 ・食品の選び方、食中毒に対する予防法、食品添加物について理解する。 ・衛生と安全に配慮して、基本的な調理を行うことができる。

学期	学習内容（単元等）	到達目標
3	消費行動を考える 消費行動と意思決定 消費生活の現状と課題	・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・消費者の権利と責任について理解する。
	経済的に自立する 暮らしと経済	・生活における経済と社会の関わりについて知る。 ・将来のライフイベントやリスクとその費用について考え、長期的な経済計画の必要性を理解する。

2 学年

1	子どもとかかわる 子どもとは 子どもの発達 子どもの生活 子どもをはぐくむ 子どものための社会福祉	・10代の健康が、将来生まれてくる子供につながっていることを理解する。 ・子どもの誕生、心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもの世界と出会うことで、自己理解を深める。 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。
2	衣生活をつくる 人と衣服のかかわり 衣服素材の種類と特徴 衣服の選択から管理まで 衣服をつくろう 持続可能な衣生活 衣生活の文化	・衣服がもつ機能や安全性についての知識を身に付ける。 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 ・衣服の表示の種類や意味を理解し、購入から洗濯などの管理に役立てる。 ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身に付ける。 ・和服について知る。
3	住生活をつくる 人間と住まい 住まいの文化 健康に配慮した快適な室内環境 持続可能な住まいづくり	・日本の伝統的な住居の建築構造の工夫や暮らしの工夫を見つける。 ・ライフステージによる住まいの変化を考え、生活空間の機能を理解する。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学び、住まいの必要な管理の方法を理解する。
	生活設計	・自分らしい生き方について考え、家庭総合で学んだことをもとに、具体的な人生設計をする。